

(別紙：様式案)

シンポジウム等の概要について(事後報告)

- 1 名称:公開シンポジウム「複合災害への備えー with コロナ時代を生きる」
- 2 日本学術会議の主催者:防災減災学術連携委員会、土木工学・建築学委員会
- 3 その他の主催団体等:
 - ・主催:防災学術連携体
- 4 開催日時:令和2年10月3日(土) 13時30分～15時00分
- 5 開催場所:オンライン開催(防災推進国民大会2020(主催:内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議)の東京メインスタジオ※からのライブ配信)
※ 東京メインスタジオ:味覚糖 UHA 館 TKP 溜池山王カンファレンスセンター5F

6 開催趣旨:

新型コロナウイルスの感染拡大は日本全国、全世界に及んでいる。感染症への対策は続けねばならず、この間に生じる自然災害によって起こる複合災害にも警戒が必要である。防災学術連携体(防災に関わる58の学会が日本学術会議を要として集まった組織)は、沖縄の梅雨入りに近い5月1日に、市民への緊急メッセージ「感染症と自然災害の複合災害に備えてください」を発表した。

日本は災害の多い国であり、南海トラフ地震、首都直下地震のみならず、気候変動の激化による豪雨災害にも備えねばならない。「with コロナの時代」に生きる私たちは、今後どのように複合災害に備えていくべきか。医療と看護、気象災害と地震災害、地理・地形と自然災害、都市・建築と社会活動、災害と安全、防災と先端技術などの分野の専門家が集まり、知恵を結集して議論する。

7 参加人数:

講演者・関係者:9名

インターネット中継:視聴者:757名(10月3日当日分)

動画はぼうさいこくたい2020のホームページにセッションアーカイブされている。

<https://bosai-kokutai.com/session/detail/SS-11/>

8 特記事項:

本シンポジウムは、防災推進国民大会2020(主催:内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議)の中の一セッションとして開催した。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、オンラインによるライブ配信が行われた。

当日の講演に用いられた資料(スライド)は防災学術連携体のホームページに掲載して自由に閲覧できる形で残されている。また当日の開催状況の動画は防災推進国民大会2020のホームページにも掲載され、閲覧できるようになっている。

当日の収録状況



配信前の集合写真



配信前の打合せ

ディスカッション



閉会挨拶